

都市整備部

市営住宅集約建替事業について

都市整備部住宅課

1 目的

市営住宅(6,280戸)の約5割は、1980年(昭和55年)以前の建設であり、特に中区市街地中心部において、高経年化、老朽化による居住環境の悪化が懸念されている。

また、少子・高齢社会の進展、環境問題の増大など社会的要請への対応や、効率的な管理、資産の有効活用を図るためにも計画的な整備・改善が急務となっている。

これらの問題を解消するため、平成23年度に策定した市営住宅ストック総合活用計画に基づき、既存の老朽化した団地の効果的、効率的な集約建替を行う。

2 事業概要

○市の中心地区に位置する松城団地、富塚(CB)団地、富塚(向平)団地、鹿谷(市立東)団地、鹿谷(亀山)団地、鹿谷(真向坂)団地について、集約建替を行う。

○集約に向けた基本計画の策定を行うとともに、効果的、効率的な建替を行うため、民間活力(PFI方式など)を取り入れた事業手法を検討する。

○集約建替に伴い団地内に福祉支援施設を取り入れ、高齢入居者などへの居住支援サービス提供等を行う。

○集約による余剰地については、普通財産に移管し、民間事業者等へ売却する。

3 事業効果

- ①住宅に困窮する者に対する居住の安定の確保
- ②ユニバーサルデザイン化による少子・高齢化への対応
- ③世帯規模に適した住戸の提供
- ④福祉支援サービスの提供による生活の安心安全の確保
- ⑤資産の有効活用(集約化による余剰地の売却)

遠州灘海浜公園（篠原地区）整備について

都市整備部公園課

1 これまでの経緯

- ・平成 17 年度、新水泳場（約 3.5ha）の整備に着手。
- ・平成 19 年度、地域の代表者と検討会（ワークショップ）を行い、水泳場の南北区域（約 8.7ha、以降「南北区域」という。）について基本計画を策定。
- ・平成 20 年度、南北区域の用地取得に着手。
- ・平成 21 年 2 月、新水泳場（トビオ）が完成。
- ・平成 23 年度末の用地取得進捗率は約 96%、平成 24 年度完了見込み。

※当地区については、浜松西地域協議会から早期整備の強い要望がある。一方、東海・東南海・南海の三連動地震による防災対策が喫緊の課題となっている。

2 今後の方針

- ・基本設計に着手。
- ・県から示される第 4 次地震被害想定の結果を元に、必要に応じ津波対策などの防災施設を設計に盛り込む。（施設の配置・規模等については、危機管理課と連携し検討する。）

3 その他

篠原地区の残る東側区域（約 25ha）については、県営野球場などのスポーツ施設の設置を主体とした整備を進め、市の整備区域と一体となった県民憩いの場、スポーツ・レクリエーションの拠点として早期事業化を図るべく、県への要望や働きかけを継続している。

遠州灘海浜公園 篠原地区 (A=37.2ha) 全体図

